

取組みのカテゴリ

転倒防止対策

腰痛対策

危険の見える化

企業情報

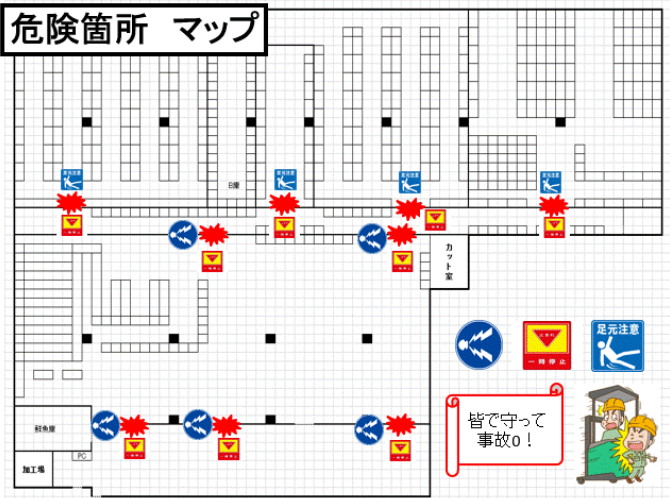
所在地：山形県
従業員：203名

背景

以前は作業を物流会社に委託していましたが、8年前から関連会社で作業を行うことになりました。会社が変わることをきっかけにして、山形丸魚の管理本部が主導となり労働安全に関する取組を強化してきました。

取組内容

1. 【類似災害を防止するための危険箇所の見える化】
- 職場内の危険が潜む箇所をあぶり出し、ハザードマップに落とし込みました。
 - 特に転倒危険箇所、フォークリフトとの衝突の危険箇所が多くリストアップされました。
 - 実際の危険箇所には注意喚起のポスター・シール等を貼り出しました。
 - 効果を高める工夫として、フォークリフトと従業員が衝突する可能性がある箇所ではクラクションによる注意喚起を実施しています。



2.【転倒防止対策のための5S活動の実施】

- 当社の職場では大量のゴミが発生します。そのゴミが原因で転倒事故が多く発生していました。またカゴ車やパレットが散乱することによっての衝突事故も発生していたため、5Sを徹底することで職場環境の改善に取り組みました。
- まずは5Sのポップを職場に掲示して、従業員の意識向上を図りました。
- ゴミの清掃方法や分別についても分かりやすくマップに落とし込みをしました。
- カゴ車、パレットの置き場を明確にして、通路の確保をして衝突事故を防止しました。
- 安全な環境を維持するため躰の担当を明確にして、清掃のルールや物の置き場所をルールを全員に守ってもらうように努めました。



3.【腰痛対策のための5つのルール】

- 当社では「無理な動作に注意」というポスターを職場に掲示して、従業員への注意喚起を行っています。
- ①中腰で作業を行わない。腰を下ろして商品を持つ。 ②方向転換は腰をひねらずに体ごと向きを変える。 ③一人で重い商品の荷下ろしは行わない。 ④パレットに乗って作業は行わない。 ⑤商品は1ケース以上持たない。
- 5つのルールを徹底して守ることで腰痛を訴える従業員は大幅に減少しました。

無理な動作に注意！

1. 中腰で作業は行わない。腰を下ろして商品を持つ。
2. 方向転換は腰をひねらずに体ごと向きを変える。
3. 一人で重い商品の荷下ろしは行わない。
4. パレットに乗って作業は行わない。
5. 商品は1ケース以上持たない。



安全の成果

- 労働災害の件数は減少傾向にあります。特に防止対策を強化した、フォークリフトと人の接触による重大な事故は無くなりました。

副次的効果

- 従業員の安全意識の向上により、フォークリフトによる対物事故が大幅に減少し、物損・修繕に掛かる費用も大幅に減少しました。
- 労働安全に対する取組が信頼獲得に繋がり、新規で取引を開始していただける企業様が増えました。
- 5Sを定着させるため躰の担当を明確化し、清掃のルール等を守ってもらうように教育を進めていった結果、従業員の成長に繋がり、責任感を持って仕事に取り組む人が増えました。

取材年月：2021年1月

* 上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です。